

令和6年度第1回阿南市教育振興基本計画等策定委員会

日時：令和6年5月15日（水）10:00～12:00

場所：阿南市役所 6階 604会議室

出席者：委員：12人中10人出席（別紙委員名簿参照）

教育委員会：坂本教育長、林委員、里美委員、新居委員

事務局：（教育部）中橋教育部長 （学校教育課）鎌田課長 （教育総務課）田上課長
（学校再編推進室）西岡室長、藤居室長補佐 （教育総務課）小笹補佐、芝山補佐

会次第

1 開会

2 あいさつ

3 議事

- （1）阿南市立小・中学校の再編に係る地域住民説明会報告書について
- （2）阿南市立小・中学校再編実施計画素案に関するパブリックコメントについて
- （3）その他

4 閉会

議事（1）阿南市立小・中学校の再編に係る地域住民説明会報告書について

（原田委員）

吉井小学校は不登校の子どもを集めるのかと地域内外から質問を多く受けた。小規模特認校は新しい取り組みで、まだ知らない人が多く様々なイメージを抱かれやすいと思う。受け入れる側としては、偏りのあるイメージではなく、阿南市の子どもや保護者全体の選択肢として広く多くの人に周知・理解していただきたいので、説明会での表現には工夫をしてもらいたい。特認校のほかに不登校対策の学校を設けるということか。

（事務局）

不登校対策の学校を特別に設ける計画は今のところない。小規模特認校では、多様な個性の子どもが集まることはあると思う。その中に大規模校では馴染めなかった子どもが含まれる可能性はある。全国の事例のように、入学希望者に対して面談を行うなど受け入れのルールは設けないといけないと思う。

（西委員）

阿南市が実施している適応指導教室（教育支援教室）が学校に行きにくい子どもたちへの支援制度ではないでしょうか。

（事務局）

その通りです。

（美濃委員）

阿南駅前ふれあい学級がその適応指導教室（教育支援教室）の場所だと思う。現在、阿南市で登校拒否の人数はどのくらいか。ふれあい学級に登録、在籍している人数は把握しているか。登校拒否をふれあい学級で賄いきれていない実情もあると思う。特に、遠方の方は親が送迎しないといけない。共働きの家庭となるとその送迎が難しく、行きたくても行けないことがあると思う。今の時代はフリースクールの数も増えている。また、学校には行かずに家でインターネットや通信教育で勉強する子どもも増えている。その点で、先の未来も考えて取り組む必要がある。

（事務局）

不登校の人数は、200名ほどいる。ふれあい学級の人数については、現在手元にないが、確認してお知らせできると思う。フリースクールも選択肢の一つとして阿南市内で通っている方はいる。今後は、阿南市としても官民一体となった対応を含めて研究していく必要があると考えている。

（多喜川委員）

現在書かれている小規模特認校に通わせる目的が行政側の目的で、そこに通わせる保護者や子どもの目的が書かれていない。木頭出身の有名な方でメディアドゥの藤田さんは、東京ではなく木頭で学ばせてもシンガポールと繋がることができるとおっしゃっている。特別な制度を実施する限りはPRが必要。その点で、小規模特認校を導入する目的も子ども中心で考えないとうまくいかないと思う。

（霜田委員）

この小規模特認校に全市的なところから人を集めてくるだけの魅力があるのか。惹きつけるための魅力は何か議論する必要があるのではないか。地域の協力も生かした特色も必要であり、それがプラス面をPRすることにも繋がる。

（事務局）

小規模特認校でこういった子どもを育てていきたいのか、それを周知やPRしていけるようにしていかなければいけないと感じる。

（多喜川委員）

特色ある学校にするなら、吉井小学校と加茂谷中学校を義務教育学校とするのはどうか。加茂谷地区は地域資源もあり、移住者も多いと聞いている。その加茂谷で子どもを育てたいと思ってくれる人が広がれば、阿南市のまちづくりという意味でも上勝町や神山町に負けない学校に変えられる可能性はあると思う。

（事務局）

今回の学校再編実施計画では、加茂谷中学校は阿南第一中学校との再編を検討している。貴重なご意見として参考にさせていただきます。

(笠原委員)

再編するのであれば、校区も柔軟に対応していくような計画になればいいと思う。

(事務局)

阿南市では、校区のライン引きはあるが、保護者の方々から申し出があって、その理由の内容によっては校区外就学で対応している。

(原田委員)

吉井地区の保護者として、他の地区の子どもは自分の地区か吉井小学校を選べる状況だが、吉井小学校の子どもはその選択肢がないということを感じた。

(事務局)

学校選択制には小規模特認校制度のほかに隣接校区選択制がある。まず、学校選択制は導入するために議論が必要となる。一方で、学校選択制の導入は、今は全国的に消極的になっており、学校間の格差が出ることや教員のモチベーションが下がるなどの問題も出ている。教育委員会として小規模特認校に加え、隣接校区選択制を導入するかしっかりと議論や検討を重ねていきたい。

(藤原委員)

住民説明会では各地域から学校の建て替えに関する意見が出ていたと思う。具体的に進んでいる状況を教えていただきたい。

(事務局)

実施計画では、第1期の計画期間は既存の校舎を有効活用するとしている。阿南第二中、羽ノ浦小については現在検討を進めている。

(原田委員)

特認校の他県の事例では、交通費の補助やバスの利用補助を取り入れている学校があった。そのような取組は考えているのか。

(事務局)

現在の段階では考えていない。

(笠原委員)

休校や廃校の利活用について、しっかりと考えていただきたい。説明会の報告書を見ると、学童について心配されている意見もある。そのあたりも含めて有効活用を考えていただきたい。

(事務局)

校舎の有効活用については、地域の皆さまと協議しながら進めていきたいと思う。

(多喜川委員)

中野島地区で説明会を聞いた際に、第2期では建物はどこに建つのか、具体的なところが提示さ

れていなかった。それは他の地区の説明会でも同様の説明だったのか。第2期以降は子育て世代や今の高校生世代が関わってくる話でもある。その点で、長期にわたる計画や見通しをどう説明していくか重要になってくると思う。

（事務局）

他の地区での説明会において、第2期の校舎位置はお示ししていない。理由として、長寿命化計画のような施設計画と整合性をとりながら進める必要があるといった実情がある。第2期の校舎位置についても、その都度検討をしていかなければならない。今後もなかなか位置が決まらないことが想定される。現時点では今の敷地を使って建てる「現地建て替え」を基本に考えている。新しい敷地を取得するとなると周辺住民の合意など色々な問題もでてくるため、この点は慎重に検討していきたいと思う。

（美濃委員）

大野小学校について、洋式トイレが無いことやプールが水漏れで利用できなかったと聞いた。その点で子どもたちに不都合や負担があるようなことは早急に対処していただきたい。

（事務局）

トイレの洋式化については、全ての小・中学校で進めている。予算の面もあるが、できる範囲で取り組んでいきたいと考えている。プールについても老朽化の問題は把握している。今後、学校にプールを作っていくのかどうか費用的な部分も含めて問題になってくる。昨年度、試行的に実施した民間施設を使うことも検討しているが、全校を受け入れることは難しいと思われる。そのため、プール施設についても今後計画的に検討していきたいと思う。

（霜田委員）

スクールバスの運行について、説明会の意見を受けて現状どのように考えているのか。子どものケアについて、富岡地区の意見のように統廃合が繰り返されることで、母校への愛着の問題とかが起きると思う。そのあたり、十分検討した上で統廃合を考えていただくことが大事だと思う。

（事務局）

学校再編実施計画の策定と並行して、スクールバスの検討に着手している。公共交通機関の活用については、タクシー業者やバス業者にヒアリングを行っており、今後もヒアリングを進める予定である。子どもへのケアについては、子どものライフサイクルも大事な視点になる。例えば、再編の期間が3年となった場合に、中学1年生の子どもは中学校卒業とともに学校が無くなることになりかねない。その点で、子どものライフスタイルにどのような影響が出るのか考える必要がある。愛着についても学校文化、教員文化、生徒文化のようなこれまで培ってきた文化をどのように新しい学校に継承していくのか、そういった取り組みも必要であると考えている。

（梶本委員）

就学前の保護者に対しても、再編統合に向けた情報提供を積極的に行う必要があると感じた。幼稚園の立場として、何かお役立てできることがあれば協力していきたい。

（事務局）

就学前の方々も影響を受けるため、ご協力いただければ助かる。

（原田委員）

住民説明会について、保護者の方にとって平日は昼夜問わず参加が難しい方が多いと思う。動画配信のように、親が時間のある時に見ることができるような情報公開もしていただきたい。

（事務局）

住民説明会の状況は、宝田地区のものを説明内容の部分だけ YouTube で公開している。今後、色々な方々にご参加いただけるように手法を考えて進めていきたい。

（西委員）

小・中学校には特別な支援を必要とする児童生徒がいる。そして、その保護者は通級や支援学級の設定についても情報収集して色々と考えられている。そうした方々のために支援学級などの情報も、今後提供していただければと思う。

（事務局）

支援学級の情報提供にも努めていきたいと思う。

議事（２）阿南市立小・中学校再編実施計画修正素案に関するパブリックコメントについて

質疑無し

議事（３）その他

質疑無し

以上